

佐土原 R C

# 週報



国際ロータリー第2730地区  
**佐土原ロータリークラブ**  
 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30  
 例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

Real Happiness is Helping Others  
 人の幸福は人助けから

### 職業奉仕・米山月間

- 1992.10.9(金)第241回例会
1. 点 鐘
  2. ロータリーソング「それこそローター」
  3. 「四つのテスト」唱和
  4. 会長の時間
  5. 幹事報告
  6. 各委員会報告
  7. 卓 話
  8. 点 鐘

### 第240回例会記録 (1992.10.2)

**会長の時間** 岩 切 正 司  
 皆さん今日は、本日は第240回例会です。昨夜、宮崎市郡6RCの会長・幹事会が宮崎市で開かれました。オブザーバーとして、三重野ガバナー・ノミニエ、岩下バスト・ガバナー、秦中部分区代理が出席されました。主な議題は、本年宮崎市で開催される「世界盲人マラソン大会」への協力についてでした。宮崎市が誘致した同大会は、約5000万円の経費を要するとのことで、ロータリークラブにも宮崎市から募金面での協力要請がありました。募金の方法としては、世界盲人マラソン大会記念テレホンカード(50度数通話用)を作り、各種団体、企業等に購入してもらおう予定だそうです。1枚を1000円で売り、400円の利潤があるとのこと。大会事務局ではテレホンカードを全国にばらまきたい意向のようです。ロータリーについても同様に期待していると思われま

しかし、そのような事をすれば、必ずや後日全国からも宮崎県に各種募金の要請が来ることは明らかである、との反対意見が出ました。また、付加価値の付いた物を買って募金に応ずるよりは、われわれロータリアンは募金の主旨を理解して、自らのポケットマネーから拠出するのが妥当ではないか、という意見もありました。

いろいろと討議されましたが、当日の結論としては、既に作成されている「世界盲人マラソン大会記念テレホンカード」の購入依頼が大会事務局からあれば、一人1枚ずつでも買って協力しようではないか、ということになりました。当クラブの皆さんも何卒よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

この議題に関連して考えさせられたことは、ロータリーの奉仕とは一体何であろうかということでした。単に、福祉行事の募金テレホンカードなどを義理買いすれば、ロータリーの奉仕は足れりというのでは本筋から外れています。世のため、人のためにしようという自発的な、真心のこもった奉仕でなければならないと思うのです。

### 幹事報告 藤 堂 孝 一

1. 例会変更通知
- ・宮崎南RC 10月11日12:30  
県総合青少年センター
  - ・延岡東RC 10月12日18:30  
ガーデンベルズ延岡
  - ・都城北RC 10月6日 12:30

事務局〒880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字西上那阿5632(有)藤堂産業内☎0985(74)2562  
 会長 岩切正司・副会長 児玉武文・幹事 藤堂孝一・会計 柳田光寛・会報責任者 垂水敏雄

- ブレイカット都城  
 ・都城西RC 10月7日12:30  
 国立都城工業高等専門学校  
 ・都城中央RC 10月8日12:30  
 サンビア都城  
 ・延岡中央RC 10月8日12:30  
 コンピューターアカデミー

2. RI第2730地区大会参加者の確認を急ぎますので、どうしても出席できない方は直ぐに知らせてください。

宮崎市郡6RCラジオ広報拠出金の依頼が来ています。

4. 地区青少年奉仕委員長の議事録が、当クラブ社会奉仕委員長宛に送付して来ました。

5. 来週は夜間例会です。19:00点鐘。10月セレモニーはその時行います。

**親睦委員会より 委員長 郡司 武 俊**

先日佐土原RC親睦ゴルフ大会の優勝者郡司武俊君に、岩切会長より優勝杯を贈呈して、その栄誉を称えます。

なお、準優勝者以下は次回に発表します。

**出席報告 委員長 神宮寺 利 夫**

会 員 数	16名
欠 席 者 数	3名
HC出席者数	13名
出 席 率	81.25%
欠 席 者 名	正岡・井下・斉藤

**ビジター**

- 西都RC 岩 切 昇 君  
 # 藪 押 邦 弘 君

**佐野 保君の会員卓話(9月25日)追録**

もの見方、考え方には表と裏があります。中国の李鵬首相が田中角栄元首相と会談した時(平成4年8月28日)のことです。李鵬首相は次のように丁寧に挨拶をされました。

「田中元首相は、日中国交正常化のために最も貢献された方であります。中国には、“水を飲むときは、井戸を掘った人を忘れない”という諺があります。私たちは田中元首相のことを永遠に忘れません。」と。

田中角栄氏に対しての評価は、日本と中国ではこのように違っているのです。

**オーランドの感想**

数人のロータリアンが1992年国際大会を要約して、次のように語りました。

「私が最も心打たれたのは、人々の温かい歓迎です。誰もが、永年の知己のように友好的でした。私の出席した7回目の国際大会ですが、まさに生活の一部になっています。

—インドロ “シド” デ・ベラ  
 メトロ・ビガン・ロータリー・クラブ  
 フィリピン

「世界中の非常に多くの人々が話し、意見を交換し、真摯な友情を築いているという事実には深い感銘を受けました。構成、ショー、音楽その他の数々のことがどれも素晴らしいものでしたが、本国際大会の主たる点は、人々の笑顔からロータリー精神が輝いていたことです。私たちが、このような会合をもっと何度も楽しむことができさえすれば、世界はもっと平和になるでしょう」。

**ロータリーのボランティアの尽力で  
 インドの予防接種率が93パーセントに**